

施工段階		内装		9	設備工事： 衛生器具取付 (仕上材との取合い)	シート番号 9-2
電気	空調	衛生	その他			
-	-	○	-			

設計図書の器具仕様より、現場に設置する器具を決定・承認を受け、手戻りが無いよう確認します。ユニットトイレは、メーカー側との工事区分、取合い点納まり、BCP対応などの確認を行います。

ポイント

■承認図、付属品について

- ・大便器でも、給水圧の違いや、給・排水、付属品が躯体(柱・梁)干渉や仕上げ寸法で機種が変わる場合があります。付属品も設置場所で変わらないか確認します。
例) S or Pトラップ、右 or 左給水(ホース長)、リモコン、センサー類
- ・建築工事の流し台や洗面化粧台、カウンターなどは、発注前の製作図をチェックしましょう。
例) フレキ接続排水トラップはNG、底板開口、点検口、補強位置、内部設置機器メンテナンス性等

■工事区分について

- ・工事区分は現場毎に違います。必ず確認して下さい。
例) 紙巻、手摺りなどのアクセサリ、水栓、止水栓、トラップなどの付属品

■現場確認について

- ・施工図通りに施工されていることを確認します。
- ・建築仕上げについても、施工図通りか確認します。
- ・取付位置の補強と、ガタツキを確認します。
- ・仕上げ目地、コンセント、制気口類との位置が整合していることを、確認します。
- ・仕上げ材と器具の隙間処理をシールとする場合、仕上がり具合を考慮して専門工事の建築に依頼しましょう。



大便器廻り設置 例

先輩アドバイス

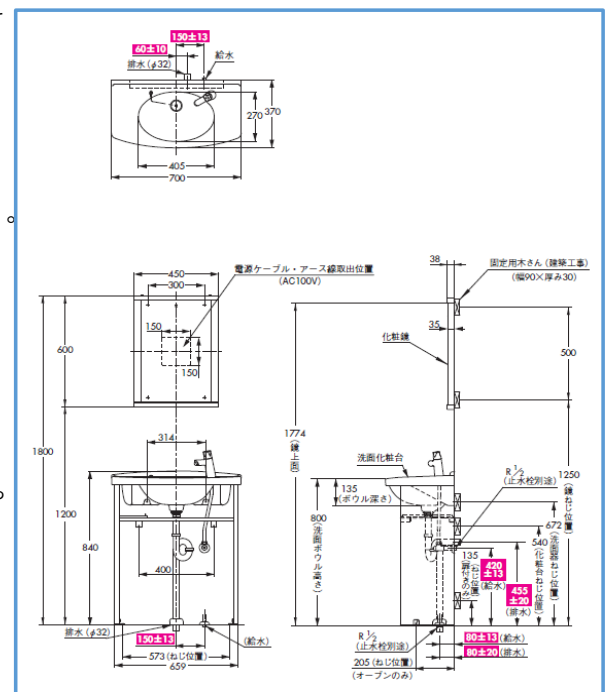
- ・トイレブースのドア軌跡と便器の干渉を確認しましょう。
- ・UB下排水管が不燃材(区画貫通1m以内)にならないか確認しましょう。
- ・洗面カウンター下にキャビネットが無い場合、配管や支持金物の、見栄えを考慮しましょう。
- ・水栓吐水口首ふり範囲は、シンクからはみだしていませんか。(ストッパーの検討)
- ・タオル掛のタオルと、コンセント、水栓類は干渉しないか、確認しましょう。
- ・シンクや洗面下に温水器など機器が入る場合は、更新やメンテナンスができるか確認しましょう。

チェック項目

- 衛生器具は、承諾図通りですか。
- 給排水配管類は、施工図通りですか。
- 建築仕上げは、施工図通りですか。
(仕上げ貼り出し芯、開口追出し芯)

失敗すると...

- ・開口位置、サイズを間違えると、他工事に迷惑を掛け、工程にも影響します。



洗面化粧台設置 例

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	-	-	○	-	-	-	-	○	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：TOTO(株)						改訂	2023年3月1日	